



ドリーム・パワー

# Dream Power

## ジョン・レノンスーパーライブ

世界の子どもたちに学校を贈ろう!

23

### バックステージ④

## ノンストップ

## 徹夜で準備

まもなく本番です。コンサートの前の日は、最終電車が走るところから、出演者以外のチームは会場の外で待機します。日本武道館で前日に行われていた催しが終わったら、すぐ準備を始めるためです。

真夜中の午前1時、会場に入れるようになると、舞台、照明、音響、楽器、映像チームは、それぞれの機材を運び込む作業をアルバイトの人とともに一斉に開始します。まずは舞台を作ります。日本武道館は1964年に開催された東京オリンピックの会場のひとつとして建設された武道場です。なので、普段はステージがありません。舞台チームは大きな建物を建てるように、ゼロからステージを作っていきます。

そのあいだに照明チームはステージを照らす多くの照明を天井につるしたりします。音響チームも大小さまざまなスピーカーを設置

たくさんのスポットライトをつるしたり、スクリーンを設置したりと、夜通しの作業が続く会場作り。武道館の中はまるで工事現場のようです

していきます。

ステージができて、電気の配線が終わると、楽器チームはドラムセットを組み立てたり、ギター用のスピーカーを準備。映像チームはスクリーンを設置します。スクリーンにはステージの背景となる巨大なものや、遠くの席の人がステージの様子をはっきり見られるようにするためのものなどがあります。それぞれ、映像を映してテストをします。

午前3時になると、バンドの楽器がステージに運ばれます。各チームが作業を進めていると、朝日が昇ってくる時間になります。

朝8時。アルバイトの人たちが客席の椅子を並べるころには、音響・照明をはじめ全てのチームが、ミスはないか、徹底的にチェックしていきます。会場が完成するお昼ごろ、ついにバンドのメンバーが到着。いよいよ出演者を迎えるのりハーサルが開始されます。

このように本番直前はノンストップの作業が夜通し進みますが、みなさんはスタッフがいつ寝ているのか不思議に思ったかもしれませんね。少しでも寝られる時間があったら交代で休むようにしていきますよ。でも、徹夜になってしまいう人もたくさんいます。1年をかけてみんなで夢見たステージ。会場を作るスタッフの本番は、一足早く始まっているのです。

(ドリーム・パワー ジョン・レノン音楽祭事務局・浜田哲朗)